



提 言 書

平成25年10月

勝 浦 市 市 民 会 議

勝浦市長 猿田寿男 様

(仮称) 市民文化会館の愛称募集、施設の活用方法等について提言します。

平成25年10月23日

勝浦市市民会議

座長 兎安利之

## 提 言

### 1. 愛称募集について

#### (1) 募集について

- 施設自体が将来へ向けてのものなので、子ども達に興味を持ってもらうためにも、愛称募集は子ども達を対象に行ってもらいたい。
- 募集は市民から応募して決定するのが良いと思うが、愛称には、海にちなんだ「黒潮」など、勝浦のイメージを入れた方が良いと考える。
- 愛称に条件が必要な場合は条件を付けて、子どもを含め、広く市民の意見を聞いた中で選考するのが良いと考える。

#### (2) 選考について

- 選考委員を設ける際には、市民会議委員の中からも一部、委員として参画したらいかがか。
- 子どもに重きを置いた上で、各世代から選考委員を選んでもらいたい。

### 2. 施設の活用方法等について

#### (1) アクセスについて

- 高台への移転となるため、特にお年寄りや障がいのある方へ配慮し、利用者の便を図ってもらいたい。
- 武道大学からのアクセス道路を改良した方が良いと考える。
- 大きなイベントで市が主催するような場合は、バスの運行などの配

慮を望む。

- 市民バスの運行については、バスの大きさなどを含めて検討する必要があると考える。
- 日常においては、要望に応じて利用できるデマンド型の乗り合いタクシーを取り入れてもらいたい。
- 市役所、警察署と併せ、3つの大きな施設が集まることになるので、路線バスの方にも便を増やすなどの依頼も可能になると考える。

## (2) ホール等の活用について

- 子ども達が映画や演劇を観る機会を持ってもらいたい。
- 現在、武道館を借りて行っている特定健康診断や、鳴海ロードレースの会場など、多方面で活用したら良いと考える。
- 多目的室は、身近な音楽の発表の場となると思うが、音響面に十分配慮する必要がある。
- 調理室は、調理する場所が一行に並んだ設計となっているが、利用形態から考えると、テーブルを皆で囲みあって使える以前の形を望む。
- 調理台を以前の形に戻したとしても、屋根付のテラスと調理室を結べば、パーティーなど利用方法も広がると考える。
- 和室の中に炉を切るなど、茶室としての機能を望む。
- 各種サークル団体が発足する場合の行政側の援助など、市民参加でホールを埋めていく方策も必要と考える。
- 映画鑑賞については、基本計画にも入っているのだから、家庭用のものではなく、映画館で観られるのと同様の設備機材を入れる必要がある。
- ホールを平土間にした場合の活用方法について、救急講習会、空手、ボランティア連絡協議会ほっとパーティー、ゆうゆう広場など、現在場所が狭いなどの理由で制限されているものにも利用してもらおうと良いと考える。
- 以前は、ビッグひな祭りの期間中、日常的なクラブ活動が制限されていたので、新施設では考慮してもらいたい。
- ビッグひな祭りの際に、施設利用が可能となれば、ひな祭りに連動して、お茶会や地元の食の提供など市民発表や活動の場が持てると思われる。
- ホールを平土間にした場合には、ラジオ体操やウォーキングの場など、活用範囲を広げて考えたらいかがか。パーティションで区切れば、

学生向けに夏期自習室の提供なども可能と考える。

- 武道館、武道大学のイベントの際にサブ会場として、3施設が一緒になって行うことで、稼働率も上がると考える。
- テラスのデッキも子ども達を対象にした企画を立てるなど、活用の幅を広げると良いと考える。
- 小・中学校にもピアノを活用してもらったり、警察が近いので交通教室を一堂に会して行ったりなど、学校にも利用促進を図ったらいかがか。
- 結婚式を行う企画はいかがか。
- 国家試験など、試験会場として利用したらいかがか。

### (3) 貸出し基準について

- 障がい者団体や子ども達、また自主サークルを含めた非営利的な活動をされている方には、法人個人に関わらずある程度の減免規定を設けてもらいたい。
- 使用料について、施設は公民館的機能を有することからも、これまでの公民館サービスを下回らないような基準を望む。
- 使用料について、映画上映など有料の催しであっても、市民運営によるものについては減免とするなど、文化活動支援の観点からも、運営主体により判断するような基準を設けてもらいたい。
- 営利的なものについては応分の負担をいただき、民業圧迫にならないよう線引きをして基準を設ける必要がある。
- 使用料について、可能であれば市民は無料とするのが理想だが、有料でも理解が得られるケースが多くあるので、お金を落としてもらうために、施設利用がしやすい環境づくりが大事であると考え。
- ピアノの購入に当たっては、文化力アップのためにも、良いものを揃えて市民向けに無料講座を設けるなど、子どもからお年寄りまで積極的に使ってもらえるような考え方を持ってもらいたい。

### (4) 運営について

- 稼働率を上げるために、映画や試験会場、発表会など、定期的に使用してくれる組織と契約のようなものができるのか考える必要がある。
- 800席のホールに人を呼ぶには、市民のニーズやアイデアを継続して集約する場が必要と考える。
- 施設の運営に関して、市の所管部署はあるにしても、市民が永続的に運営に携わる、市民参加型の運営が望ましい。

- 音響や照明などの機材は、使用者が自力で使えるものであるのか専門家に限るのか、また機材に詳しい担当者を置くのかなど、開館後の運営面も含め、熟慮の上導入する必要がある。
- 施設運営は、指定管理者はそぐわないということだが、技術部門のみ一部の委託は手法として可能と考える。
- 舞台監督や照明、音響の技術者は委託をする前に公募してもらいたい。若手育成に意欲のある方を市民から募って指導者になってもらうのが望ましい。
- 委託するにしても市の職員を配置するにしても、受付から設備の説明などを行える専門知識のある者を常駐させる必要がある。
- 映画や演劇などの催しを行う際には、市民にとどまらず、多くのお客を呼び込むためにアピール・宣伝を工夫する必要がある。
- 開館日・開館時間について、市民が利用しやすいように、祝日開館や月曜日開館を望む。機材返却の受付等は、休日であっても対応する特例を設けるなどの配慮を望む。
- 開館後も、ピアノなど備品類へのメンテナンスを十分考慮する必要がある。
- ホール等の施設予約に関する基準を設ける必要がある。
- 施設オープンの際には、式典一日だけではなく、オープニング関連事業として期間を設け、市民参加による実行委員会のようなものを立ち上げて企画立案をしたらいかがか。

#### (5) その他

- 今後は、他の課題についても、設計等の前段階から市民の意見を聞く機会を持ってもらいたい。
- 施設利用等に関する条例・規則案が出来た時点で、再度詳細について、別の形で市民意見を聞く場を持ってもらいたい。
- 施設を利用価値あるものにしていくために、備品や設備に関する詳細について、市民意見を反映していく別の会議を要望する。